

取扱いの趣旨

有床義歯の製作にあたっては、義歯が必要とされる傷病名の記載が適切であることから、「鉤（C I）ハセツ」で有床義歯の算定は原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【歯冠修復及び欠損補綴】

《令和3年9月27日》

226 有床義歯③

○ 取扱い

原則として、「鉤（C I）ハセツ」病名で、有床義歯の算定を認めない。

○ 取扱いを定めた理由

有床義歯の製作にあたっては、義歯が必要とされる傷病名の記載が適切である。

グラフの見方

検証不要(差異なし)

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

有床義歯を算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（クラスプ破損（C Iハセツ））に対して有床義歯を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、有床義歯が査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員等	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

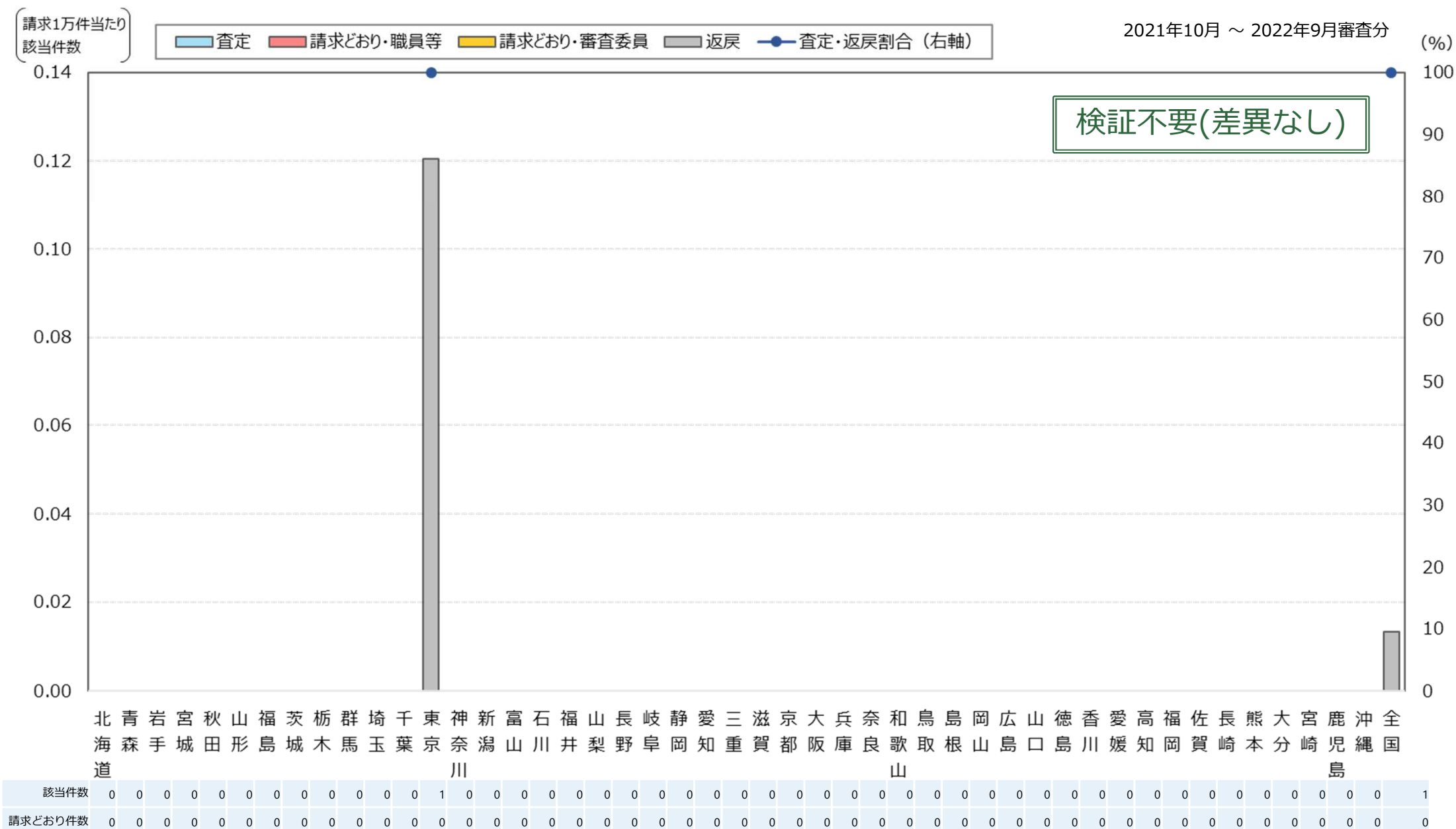
- 全国の査定・返戻割合 100%
- 該当レセプトはすべて取扱いに基づく審査が行われている

検証観点	検証を要する都道府県	備考
査定・返戻割合が低い都道府県		査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員等		対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員		//

該当件数（全国）	クラスプ破損（C Iハセツ）に対して有床義歯を算定	1件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	1件
検証を必要とする審査	請求どおり	0件

事例226 「鉤（C I）ハセツ」に対する有床義歯の取扱い

【認めない事例】



【該当件数】 クラスブ破損（C Iハセツ）に対して有床義歯を算定しているレセプト件数